



南十字星



2022年度 第2号

令和4年5月7日

クイーンズランド補習授業校

ブリスベン校

校長 直塚 裕典

E-mail: hoshuko@jc-b.com

入学式で新入生が入り、新たなスタート!



4月30日、入学式を実施しました。前日の夕方から保護者役員の皆様には会場準備などでお世話をおかけしましたが、予定通り10時30分から開始することができました。式にはご来賓としてブリスベン日本国総領事館首席領事、増田智恵子様、ブリスベン日本商工会義所会頭、宇山史剛様、ブリスベン日本クラブ会長、木原忠司様にご臨席いただき、さらに多数の保護者の皆様も参加して、静粛な中にも明るい雰囲気の中となりました。

校長式辞で、新幼稚園児・新小学1年生に対して「にっこり笑顔であいさつ」と「お話をしっかり聞く」、新中学1年生に対して「自分のことは自分でする」、「自分の将来は自分で考える」の2つをお願いしました。新入生代表誓いの言葉は、小1のpronger希歩くん、嶋田麻音さん、中1の山藤灯揮君が述べました。また、昨年度から始めた在校生代表の歓迎の言葉では、中3の小島サルヴァトーレ泰成君の「今まで続けてられたのは、自分と同じ環境で現地校も補習校も頑張っている同級生の存在でした。一人ではなく、みんなで進んでいく気持ちで補習校生活を頑張ってください。」が心に残っています。

今後とも保護者の皆様のご協力をお願いします。下の写真は幼稚部ガイダンスの様子です。



入学式「誓いの言葉」「歓迎の言葉」



【新入生代表 誓いの言葉】

《幼稚部・小学部一年生代表》

【しんにゅうせい ちかひのことば】

ぼくたち、いちねんせいとようちぶは

きょう にゅうがくするのをとてもたのしみにしていました。

ほしゅうこうでは、たくさんのおともだちをつくったり、おべんきょうをしたりしていきたいです。そして、たくさんのおもいでをつくりたいです。

しがつさんじゅうにち

しょうがくぶいちねん しまだ まおん、ぷろんがー のあ



《中学部一年生代表》

長かった夏も終わり、すがすがしい秋風とともに、僕たち中学部十三名、小学部三十九名、幼稚部二十六名は、ブリスベン補習校で新たなスタートを切りました。今日は僕たちのために、このような立派な式をとり行っただき、ありがとうございます。

ぼくは将来、大学で理系の科目を学び、コンピューターに関係する仕事につきたいと思っています。そして、祖父母のいる東京で働きたいという夢があります。そのために日本語はぼくにとってなくてはならないものです。

ぼくの中学部での目標は、これまでと同じように毎日コツコツと日本語の勉強をすることです。そのために計画的に、そして効率よく時間を使い、中学部卒業まで現地校と両立できるようにがんばりたいです。ぼくの目標はありきたりかもしれませんが、毎日の努力の積み重ねが大事なことを小学部で学んだので、中学部でも続けていきたいと思えます。

低学年のころ、ぼくはあまり漢字の勉強が好きではありませんでした。補習校の宿題もいやで仕方がない時期がありました。けれども毎週宿題を続けていくうちに、だんだん漢字の勉強が好きになっていきました。そして、少しずつ読める日本語の本のバラエティが増えていき、今ではたくさんの本や漫画が楽しめるようになりました。ミヒヤエル・エンデの「モモ」やギリシャ神話、漫画では「宇宙兄弟」がとてもおもしろかったです。ぼくは文章を書くことが得意ではありませんが、補習校の勉強を続けることで少しずつできるようになりたいと思えます。そして日本にいる祖父母に長い手紙を書いてみたいです。

ぼくはまだハイスクールに入ったばかりなので、これから補習校と現地校を両方がんばることが、どれくらい難しくなるかわかりません。バレーボールを始め、吹奏楽でもトロンボーンを練習しています。課題やスポーツの練習、試合に追われていつか補習校をやめたいと思う日が来るかもしれません。でも、そんな時がきても、ぼくは最終的に補習校を続けるという選択をする自信があります。それは、ぼくが心から日本語を上手になりたいと思っているからです。

補習校では、同じように現地校やスポーツ、他の習い事と補習校を両立させてがんばる仲間との出会いもありました。そんな仲間と取り組んだ、学校行事の運動会、学習発表会やタレントショーでのけん玉隊、かるた大会など、楽しい思い出がたくさんできました。どれも、現地校だけでは得ることのできない経験です。

僕は、日本語への情熱を失わず、学習を続けていきます。そして胸を張って卒業できるよう、仲間とともに中学三年間をがんばりぬくことを、ここに誓います。

最後になりますが、校長先生をはじめ、先生方、保護者の皆さまに、これからの補習校生活へのご指導、サポートをお願いし、代表のあいさつとさせていただきます。

令和四年四月三十日

新生代表 山藤 灯揮

【在校生代表 歓迎のことば】

幼稚部、小学部一年生、中学部一年生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、保護者の皆さま、本日はおめでとうございます。南半球にあるブリスベンの四月は秋。爽やかで過ごしやすいこの季節に、補習校の新学年が始まります。

幼稚部の皆さん、初めての補習校、わくわくしますね。補習校では、日本の季節やお祝いについても学べます。クラスの友達に優しくして、先生のお話をちゃんと聞けば、楽しい補習校生活ができると思います。

小学一年生の皆さん、いろいろな科目の教科書をもってどう思いましたか。

日本の学校の授業は教科書を使って進めるのが、現地校と違うところだなと僕は思います。国語は毎週漢字テストがあります。中三の僕だって毎週の漢字テストは面倒で難しいと思うけれど、今まで学んだ



漢字のおかげでどれだけのものが読めるようになったか考えると、勉強してきてよかったなと思います。算数は補習校で習ったことが現地校の授業に出てきて、得た気持ちになることもあります。授業も友達と過ごす休み時間も、思いっきり楽しめるよう応援しています。

そして、中学一年生の皆さん、中学校生活3年間のスタートです。中学部の生徒は、補習校の上級生として、全校朝会のスピーチや運動会の応援団など学校行事を引っ張って行く機会が色々あります。中学二年生や三年生と一緒に、学校行事を盛り上げてください。三月に小学部を卒業したとき、中学部まで進もうか迷ったりしませんでしたか。僕は小学部高学年になってから、サッカーや陸上、セイリングなどの現地校のスポーツ活動と補習校の両立が難しくなってきた、毎週の宿題も間に合わせるのが大変になっていました。そんな僕に中学部でも続けていこうと思わせた一番の理由は、自分と同じ環境で現地校も補習校も頑張っている同級生の存在でした。補習校の仲間に出会えると思うと、試合とかけもちの土曜日に授業に出席する事が楽しみに思えます。皆さんも、一人ではなく、みんなで進んでいく気持ちで補習校生活を頑張ってください。

僕は小さいころから柔道をやっています。稽古にいくのが面倒だな、と思う時もあるけれど、コツコツと続けていくうちに、やはり進歩していることを実感し、楽しさも増してきます。何事も「継続は力なり」だと思います。

中三の僕たちも気づけば最後の一年、胸を張って卒業できるよう、最上級生らしく成長していきたいです。新一年生の皆さんも、先生方のご指導と応援してくれる親のもと、共に学ぶ僕たち仲間と一緒に充実した補習校生活を送れるよう、地道にコツコツ頑張ってください。

以上をもちまして在校生代表の歓迎のあいさつとさせていただきます。

令和四年四月三十日

中学部三年 小島 サルヴァトーレ泰成

【入学式の様子より】

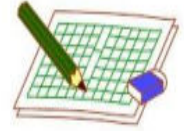


みなさんの成長がとても楽しみです。
今の気持ちを大切にしてください。
心配なことがあれば、先生やお友達、
そして、お父さんやお母さんにすぐ
に相談してください。



【2022年度第43回海外子女教育振興財団

文芸作品コンクール作品募集の案内】



(1) テーマ：海外生活を題材にしたものであれば自由です。

(2) 募集部門と点数：

① 作文・詩・短歌・俳句の4部門、枚数制限は下記を参照ください。

作文	1人1点 小学生：2,000字以内（400字詰原稿用紙5枚以内） 中学生：3,200字以内（400字詰原稿用紙8枚以内）
詩	1人1点 小・中学生とも1,200字以内（400字詰原稿用紙3枚以内）
短歌	1人3点以内 ※所定の応募用紙を使用
俳句	1人3点以内 ※所定の応募用紙を使用

② 1人で何部門でも応募可能ですが、どの部門にも、必ず応募用紙をつけてください。

③ 来週、応募用紙も添付しますので必要に応じてコピーをし、担任の先生へ提出してください。

④ 日本に郵送する関係で、補習校の締め切りは、**6月18日（土）**としています。

※今年度も郵送関係の事情がありますので、1週間早めていますのでご了承ください。

保護者の皆様へ（ご連絡）

補習校でのルールを徹底していきます！

【補習校で何を学ぶのかをしっかりと考えさせるために】

1. 学習にふさわしい服装をしましょう。
服装は、日焼け予防の面からも肌の露出を控え、安全のため現地校のスクールシューズや運動靴を勧めます。また、サンダルやヒールのついている靴、クロックスは禁止とします。
2. 携帯電話は、登校後、カバンの中に保管し、下校時の校舎外に出るまで先生の許可なく使わない。
3. 補習校では、日本語で話しましょう。
週に一度の土曜日、せつかくの日本語で学ぶ機会です。休み時間にも、友達に伝えたいことを日本語で話そうと今度の全校朝会でも提案します。できれば、「英会話禁止！」ではなく、「日本語で話そう」と呼び掛けていきます。
4. 学習に関係のないものは持ってこないようにしましょう。

子ども達は、せつかく週に一度補習校に通っていますので、有意義な補習校生活にさせたいと考えています。歓迎の言葉に、「補習校の仲間に会え、土曜日に授業に出席する事が楽しみに思えます。皆さんも、一人ではなく、みんなで進んでいく気持ちで補習校生活を頑張ってほしいです。」とあります。保護者の皆様と協力しあいながら、子ども達を励まし、成長させたいと思いますのでご理解のほどよろしくお願いいたします。

一学期の予定



- 4月30日...入学式
- 5月...7日...普通授業日
- 5月14日...こどもの日集会
- 5月21日...社会科学習日（8:50~9:10）
- 5月28日...授業参観日1校時、保護者会総会
- 6月...4日...普通授業日
- 6月11日...理科学習日（下校14:30）
- 6月18日...教育相談開始（～10/29）
- 6月25日...1学期終業式、避難訓練

海外子女作文コンクール原稿×切

※補習校も現地校と同じで携帯電話は必要ありませんので、「靴に入れていない場合や使用している場面を見た場合」は預かり、保護者の方にお渡しします。